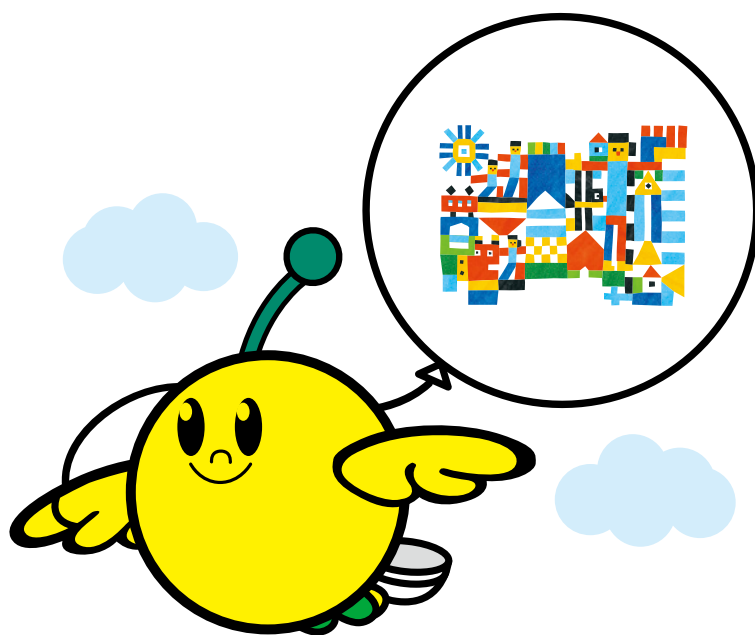


福島県東日本大震災子ども支援基金

事業報告書



福島県復興シンボルキャラクター  
キビタン

福島県  
〔令和4年度版〕

## ご あ い さ つ



平成23年3月の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から11年余が経過しました。

この間、国内外の多くの皆様から様々な御支援をいただいていることに対し、心から感謝申し上げます。

震災と原発事故からの復興に取り組む福島県では、避難指示区域が大幅に縮小し、相馬福島道路の全線開通などインフラの整備が進展したほか、全国新酒鑑評会における金賞受賞数の9回連続日本一の達成や、本県のトップブランド米「福、笑い」の本格デビューなど、これまで続けてきた挑戦が目に見える形となって現れてまいりました。一方で、いまだ多くの方々が避難生活を続けておられるほか、避難地域の復興・再生、廃炉と汚染水・処理水対策、風評と風化の問題、急激に進む人口減少、頻発する自然災害からの復旧、さらには新型コロナウイルス感染症への対応など、多くの困難な課題を抱えております。

こうした中、被災した子どもたちを長期的、継続的に支援するため、国内外の皆様からお寄せいただいた「東日本大震災ふくしまこども寄附金」を活用し、保護者が死亡したり行方不明となった児童（遺児・孤児）に対する支援に加えて、本県の子どもたちが、様々な困難を乗り越え、心身ともに健やかに育つための施策に活用させていただいております。

本県に心を寄せてくださる全ての方々と力を合わせて、ふくしまの明るい未来を切り拓いてまいりますので、今後とも御理解と御支援をお願いいたします。

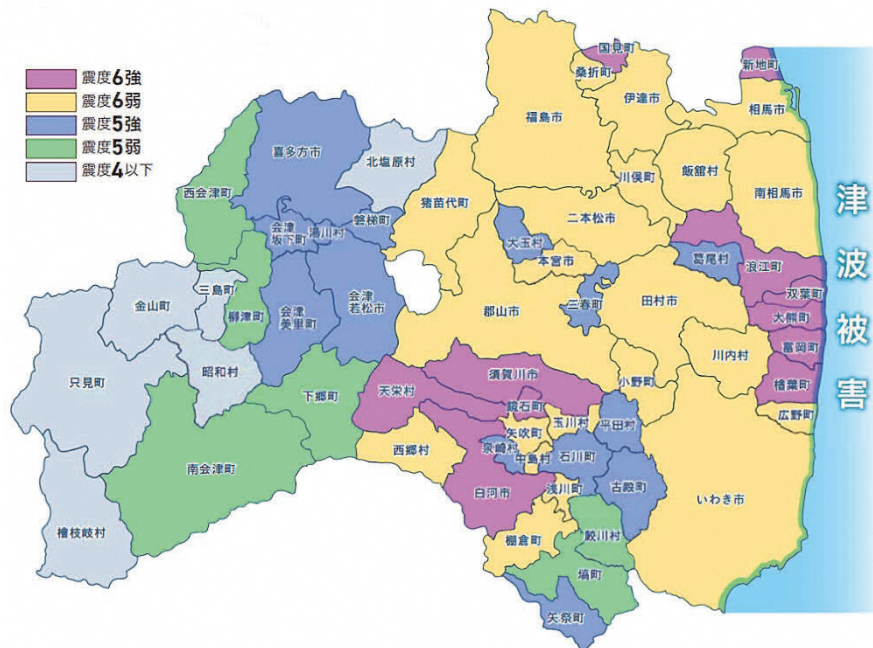
令和4年9月

福島県知事 内堀雅雄

## 福島県の発災当時の被害状況と現在

平成23年3月11日14:46に三陸沖を震源として発生した「平成23年 東北地方太平洋沖地震」(東日本大震災)は、マグニチュード9.0を記録し、観測史上最大の地震でした。

福島県では最大震度6強を記録し、激しい揺れとともに、広い範囲で大津波が押し寄せました。東京電力福島第一原子力発電所でも事故が発生し、未曾有の複合災害となりました。



地震や津波等により多くの尊い命が失われ、10万棟近くの住家が全半壊しました。また、原子力災害の影響で県土の1割を超える区域に避難指示等が発出され、多くの県民がふるさとを離れての生活を余儀なくされました。

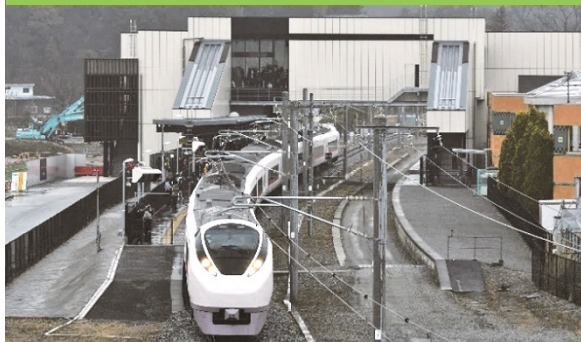
震災から11年余が経過した今、公共土木施設の復旧や避難指示の解除が進むなど、本県の復興は着実に進展しています。一方で、いまだに3万人近くの方々が避難生活を続けておられるほか、被災者の生活再建、根強く残る風評と風化の問題など、多くの課題を抱えています。



復旧・復興事業の様子  
(大熊町大川原地区)



全線復旧したJR常磐線



開通した相馬福島道路



福島水素エネルギー研究フィールド（浪江町）



福島ロボットテストフィールド（南相馬市）



出典：NEDO

## 「東日本大震災ふくしまこども寄附金」について

東日本大震災では、多くの子どもたちが親を失いました。加えて、原子力災害により、住み慣れた土地から長期間離れなければならない子どもたちも多く、様々な喪失体験によって、心に大きな負担がかかっています。

こうした中、福島県では、平成23年8月から東日本大震災による震災孤児等への支援のための寄附口座「東日本大震災ふくしまこども寄附金」を開設しています。

これまで、国内外の皆様からあたたかいご寄附をお寄せいただき、多くの子どもたちが夢に向かってはばたくことができました。これからも、子どもたちが震災前に抱いていたそれぞれの夢をあきらめることなく、着実に前に進んでいくことができるよう、大切に有効に活用させていただきたいと考えています。

### ○ 寄附の状況（令和4年3月31日現在）

寄附件数 20,101件 寄附額 7,131,881,980円

### ○ 被災孤児、遺児（令和4年3月31日現在）

- ・ 孤児：24人（孤児：両親若しくは単親の場合、現に養育していた親が死亡又は行方不明となった児童）
- ・ 遺児：180人（遺児：両親のうちいずれかが死亡又は行方不明となった児童）

## 「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」を活用した事業について

### 1 福島県東日本大震災子ども支援基金給付金

福島県東日本大震災子ども支援基金条例を制定し、東日本大震災ふくしま子ども寄附金を基金に積み立て、東日本大震災により、保護者が死亡又は行方不明となった児童（孤児・遺児）に対して、生活及び修学を支援するための給付金を給付する事業を実施しています。

**1 対象者** 東日本大震災により保護者が死亡し又は行方不明となった児童

**2 給付期間** 大学等卒業までの期間

#### 3 給付金の種類及び金額

##### (1) 月額金

ア 未就学児童	月額（孤児：30,000円、遺児：20,000円）
イ 小・中学校に在籍する者	月額（孤児：40,000円、遺児：30,000円）
ウ 高等学校等に在籍する者	月額（孤児：50,000円、遺児：40,000円）
エ 大学及び専門学校等に在籍する者	月額（孤児：60,000円、遺児：50,000円）

##### (2) 一時金

ア 小学校入学時給付金	30,000円
イ 小学校卒業時給付金	50,000円
ウ 中学校卒業時給付金	100,000円
エ 高等学校卒業時給付金	300,000円

#### 4 給付実績（令和4年3月31日現在）

給付実人員 197人 総給付額 697,600,000円

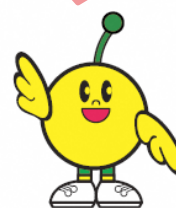
### 2 「ふくしま子ども寄附金」による新たな支援について

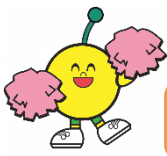
平成24年12月県議会において福島県東日本大震災子ども支援基金条例の改正が議決され、震災孤児・遺児の支援に加えて、支援の対象を県内全域の子どもたちへと拡大し、下記の5つの視点から新たな支援を行っています。

#### 【新たな支援の5つの視点】

- ① 災害・避難等により不便を強いられている子どもへの支援
- ② 子どもたちの将来につながる取組
- ③ 子どもたち及び保護者が元気になる取組
- ④ 子どもたちのふるさと福島への愛着心を醸成する取組
- ⑤ 子どもたちの本県復興への参画

次ページ以降で  
紹介します





## ジャーナリストスクール開催事業

### 1 事業概要

未来を担う子どもたちが、ふるさと「ふくしま」において、復旧・復興に取り組んでいる個人や団体に対して取材し、新聞としてまとめ、発信することにより、自分たちの住む「ふくしま」の良さを知るとともに、将来の夢や希望を深く考える機会を設けました。

### 2 事業実施時期及び参加者数

実施時期：令和3年10月30日（土）、31日（日）、11月14日（日）

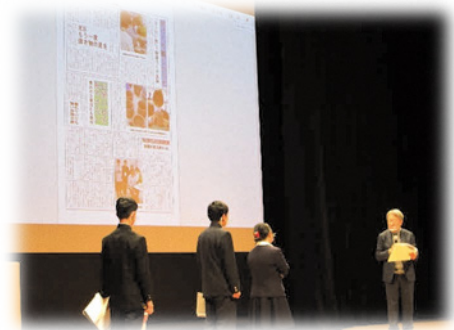
参加者数：小学生3名、中学生3名、高校生6名、

OB・OG5名、新聞発表会参観者 保護者31名

### 3 事業実施による効果

子どもたちに、復興に取り組む被災者と直接的に関わる機会を提供し、自ら学び、考え、自分の言葉で発信する体験をさせることで、改めて震災と向き合い、復興に向かって踏みだそうとする自主性を支援することができました。

また、子どもたちが作成した新聞を県内外の避難者の方々や県内の各学校に配布することにより、復興に向かって取り組む方々の姿や同年代の子どもたちの活躍を知らせるとともに、ふるさと「ふくしま」の現状や復興の取組を認識したり、福島の未来を考えたりする機会を提供することができました。



### 4 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 生涯学習課 (TEL: 024-521-7404)

## 東日本大震災・原子力災害伝承館学習活動支援事業

### 1 事業概要

震災と原発事故の記録や教訓を地域や世代を超えて継承する施設として令和2年9月に開館した東日本大震災・原子力災害伝承館を学習活動に活用するため、県内外の小中学校及び高等学校の児童・生徒が学習活動で訪問する際の費用の補助等を行いました。

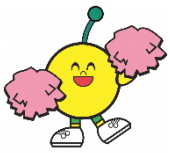


### 2 利用学校数

271校（17,105名）

### 3 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 生涯学習課 (TEL: 024-521-7404)



## アートで広げる子どもの未来プロジェクト

### 1 事業概要

福島を未来を担う子どもたちに将来「新生ふくしま」を推進する人材として活躍してもらうため、県内の小中学校等に、県内外で活躍する福島県ゆかりのアーティストを講師に招き、多彩なアートプログラムを体験できるワークショップを開催しました。



### 2 事業実施回数及び総参加者数

実施回数：計28回 総参加者数：440名

### 3 事業実施による効果

美術作家を講師として招き、交流しながら一緒に制作を楽しむことで、いつもとは違う「つくる喜び」を体験し、子どもたちの創造性を育むことができました。

「福島」をテーマとしたワークショップでは、子どもたちが身近な自然や風景を学ぶきっかけにすることができました。



### 4 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 文化振興課 (TEL: 024-521-7154)

## ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

### 1 事業概要

家庭や地域における、人と人のかかわりの中で感じた思いや願いなどを十七音で表現した作品を募り、子どもたちの豊かな心を育成するとともに、人と人との「絆」を強め、家庭や地域の教育力の向上を図りました。

### 2 応募総数

42,953組(85,906名)

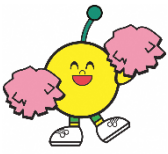
### 3 事業実施による効果

親子で作品をつくるなど、人と人との「絆」を強め、家庭や地域の教育力の向上を図ることができました。

また、県内外からふくしまへの思いや震災体験等を詠んだ作品を募集することで、震災の記憶の継承と復興に向けた想いを共有する機会となりました。

### 4 お問い合わせ先

福島県教育庁 社会教育課 (TEL: 024-521-7799)



## ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト

### 1 事業概要

中高校生を対象にしたビブリオバトル（お勧めの本を紹介しあう書評合戦）福島県大会を通して、広く県民に対し子どもの読書活動についての理解の促進のための普及活動・啓発活動を実施しました。



### 2 事業実施時期及び参加者数

県大会	令和3年11月20日（土）	中学生17名、高校生5名 観戦者162名
浜通り地区予選会	令和3年10月2日（土）	高校生9名 観戦者84名
中通り地区予選会	令和3年10月9日（土）	高校生19名 観戦者61名
会津地区予選会	令和3年10月17日（日）	高校生7名 観戦者46名

### 3 事業実施による効果

ビブリオバトルを通じて中高校生の読書活動への関心が高まっただけでなく、情報発信能力の育成・向上が図られました。

### 4 お問い合わせ先

福島県教育庁 社会教育課（TEL：024-521-7799）

## ふくしまからはじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業

### 1 事業概要

小中学生を対象に地元の農水産物を活用した料理コンテストを開催し、入賞したレシピを広く県民に発信することにより、子どもたちの食べる力の育成や地元の食材に対する理解を深め、地場産物の活用率の向上につなげました。

### 2 応募点数

17,602点（小学校6,620点、中学校10,982点）

### 3 事業実施による効果

食事作りを通して、日本食や地域の風土を理解し、ふるさとへの郷土心を育むことができました。

また、入賞作品のレシピを掲載したチラシを県内のスーパーの店頭や地場産物販売コーナー等に設置し、県民に広く情報を発信することで、家庭における食生活の改善や地場産物の活用促進の一助となりました。

### 4 お問い合わせ先

福島県教育庁 健康教育課（TEL：024-521-8409）





## 未来へはばだけ！スカイスports教室

### 1 事業概要

ふくしまスポーツアンバサダーを務め、県民栄誉賞を受賞したエアロバティックパイロットの室屋義秀氏を講師に迎え、「航空ものづくり体験」等、親子一緒に楽しむことができる体験型のスカイスports教室を実施しました。

### 2 事業実施時期及び参加者数

実施時期：令和3年6月6日（日） 参加者数：168名

### 3 事業実施による効果

スカイスportsという「福島ならではの」種目を体験させることで、スポーツの楽しさを体感させ、将来の夢や希望を育むとともに、子どもたちに対し一層の地元の魅力発信に寄与することができました。

### 4 問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 スポーツ課（TEL：024-521-7995）



## 2020東京オリンピック・パラリンピック関連復興推進事業

### 1 事業概要

オリンピック・パラリンピックの福島県での協議開催が無観客となったことから、「日本女子ソフトボールリーグ決勝トーナメント」をオリンピック観戦の代替と位置付け、子どもたちに観戦招待を実施しました。

### 2 事業実施時期及び総参加者数

実施時期：令和3年11月6日（土）、11月7日（日）

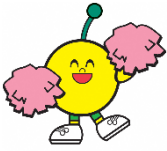
参加者数：381名（2日間合計）

### 3 事業実施による効果

競技観戦を通じて、子どもたちにスポーツの持つ力による元気と感動を届けることができました。また、一流のアスリートのプレーを直接観戦することで、スポーツに対する興味・関心の向上に繋がりました。

### 4 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 スポーツ課（TEL：024-521-7995）



## JFA と連携した人材育成事業

### 1 事業概要

福島県立ふたば未来学園高等学校サッカー部へ指導者を派遣し指導にあたることで、JFA アカデミー卒校生を始めとする、県内の有望選手の受け皿を創出し、ユース年代の育成環境の整備を行いました。

また、県内の子どもたちの健康増進やけが防止の取組を行うとともに、県内外のチームや学校、選手や指導者とサッカーを通じて交流を深めることで、県内の子どもたちの健全育成と広い視野を持った人材の育成を図りました。

### 2 お問い合わせ先

福島県企画調整部 地域政策課（TEL：024-521-7119）



## 統合校魅力化発信強化事業

### 1 事業概要

国内での国際交流と地域貢献を融合させた地域探究型学習を強化し、国際理解教育を深めるプログラム研修の実施や、喜多方市の姉妹都市である米国オレゴン州のウィルソンビル高校とのオンライン交流を実施することで、地域の魅力を発信する活動を行いました。

### 2 参加者数

高校生43名

### 3 事業実施による効果

研修の実施により、英語への抵抗感が薄れ、英語でのコミュニケーション力やプレゼンテーション力の育成を図ることができました。

また、ウィルソンビル高校との交流を通じて、英語で作成した喜多方市の魅力動画の発信など、地域活性化に貢献するとともに、生徒の地域に対する愛着心を醸成することにつながりました。

### 4 お問い合わせ先

福島県教育庁 県立高校改革室（TEL：024-521-7843）



## 地域との協働による高等学校教育改革推進事業

### 1 事業概要

福島県立ふたば未来学園高等学校の高校生を対象に、海外研修の国内代替研修として、県内にあるブリティッシュヒルズにおいて、英語で建設的に議論を進める方法や重要表現、プレゼンテーションや質疑応答の仕方等の研修を実施しました。

### 2 事業実施時期及び参加者数

実施時期：令和4年1月5日（水）～1月7日（金）

参加者数：高校生12名

### 3 事業実施による効果

自分の探究内容を英語で発表し、質疑応答や聴衆との議論に応じることを通じて、一方通行でない英語を体験し、今後の英語学習への動機付けとなりました。

### 4 お問い合わせ先

福島県教育庁 高校教育課（TEL：024-521-7773）

## 未来へはばだけ！イノベーション人材育成事業

### 1 事業概要

イノベーション・コースト構想等の大規模プロジェクトを担うトップリーダー（理数系の人材）を育成するため、次の3つの事業を実施しました。

- ① 福島県算数・数学ジュニアオリンピック（算数・数学コンテスト）
- ② 科学の甲子園ジュニア福島県大会（理科コンテスト）
- ③ 未来を担うトップリーダー！先端技術体験

### 2 事業実施時期

- ① 令和4年3月14日（月）～3月21日（月）
- ② 令和3年8月19日（木）
- ③ 令和3年12月11日（土）

### 3 事業実施による効果

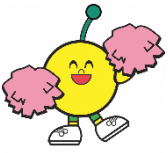
コンテストや大会を通じて、児童生徒の理数系科目への興味や関心を高めるとともに、課題解決に向かうことの大切さや困難を乗り越える達成感等を味わうことができました。

また、先端技術体験をとおして、東日本大震災について理解を深め、福島県のために役に立ちたいという意識を高めつつ、トップリーダーとしての意識を育むことができました。

### 4 お問い合わせ先

福島県教育庁 義務教育課（TEL：024-521-7776）





## 工業人材スキルアップ応援事業

### 1 事業概要

工業高校において実施されている、ロボット製作を通じたものづくり教育について、地域企業や大学等と連携し先進技術の指導を受けることで、課題解決の力を身につけるとともに、知識・技術の高度化とものづくりの意識向上を図りました。



### 2 事業実施による効果

先進的な素材や先端的な技術について学ぶことで、生徒の豊かな想像力とものづくり力を育むことができました。

また、ものづくりへの意欲向上が図られるとともに、連携した企業等への理解を深めることで、福島県の産業や復興を支える人材育成につながりました。

### 3 お問い合わせ先

福島県教育庁 高校教育課（TEL：024-521-7773）

## 専門高校生による小中学生体験学習応援事業

### 1 事業概要

小中学生が専門高校を訪問し、取り組んでいる学習内容について体験しました。その際、高校生が実技指導の講師を行い、児童生徒のキャリア教育の推進を図りました。

### 2 総参加者数

小学生392名、中学生460名、高校生786名

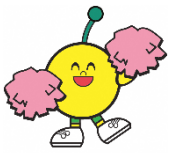
### 3 事業実施による効果

小学生にとっては、専門高校の学習活動への理解を深め、進学への意欲を高めることができ、高校生にとっては、自分たちが学んだことを十分に振り返る機会となりました。

### 4 お問い合わせ先

福島県教育庁 高校教育課（TEL：024-521-7773）





## 夢に向かってテクノチャレンジ事業

### 1 事業概要

震災から立ち上がり、自信と向上心をもって生きることができる生徒の育成を目指し、特別支援学校高等部で取り組んでいる進路に関する学習について、すべての特別支援学校の生徒が一堂に会して学習の成果を発表し、外部専門家からの客観的な評価を受ける機会を設けて、生徒の自立と社会参加につながる知識や技術の向上を図りました。

### 2 事業実施時期及び総参加者数

実施時期：令和3年8月5日（木） 参加者数：344名（総入場者数）

### 3 事業実施による効果

外部の専門家から評価を受ける貴重な機会を得ることで、進路実現に向けての自信につながりました。

### 4 お問い合わせ先

福島県教育庁 特別支援教育課（TEL：024-521-7780）

## 子どもの目を守る健診体制強化事業

### 1 事業概要

子どもの弱視を見逃さず、早期治療につなげるため、市町村が実施する3歳児健康診査の視覚検査において屈折検査を導入するための支援を行いました。

### 2 お問い合わせ先

福島県子ども未来局 子育て支援課（TEL：024-521-8205）

## 子育て世代包括支援センター機能充実事業

### 1 事業概要

県内の市町村が運営する、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センターにおいて、全妊婦を対象に育児物品の配布や妊婦訪問等を通して、支援が必要な家庭の早期把握・早期支援を行いました。

### 2 お問い合わせ先

福島県子ども未来局 子育て支援課（TEL：024-521-8205）

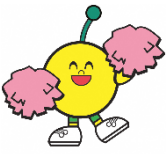
## ふくしま保育環境向上支援事業

### 1 事業概要

すべての子どもにふくしまならではの質の高い保育を提供するため、園舎・園庭の改修やあそび道具の導入等の環境改善に取り組む保育所等に対し、支援を行いました。

### 2 お問い合わせ先

福島県子ども未来局 子育て支援課（TEL：024-521-8205）



## 未来に進もう！こどもの夢応援事業

### 1 事業概要

児童養護施設等を退所し、進学する子どもたちについて、生活を支援する生活給付金、進学・新生活準備のための入学支度金、住居契約の更新等の臨時支出費用のための臨時給付金を給付することで、経済面の安定を図り、自立のための支援を行いました。

### 2 お問い合わせ先

福島県子ども未来局 児童家庭課（TEL：024-521-8665）

## 児童養護施設等入所児童自立支援事業

### 1 事業概要

児童養護施設等に入所しており、就職のため退所することが見込まれる子どもたちについて、保護者等からの経済的援助が見込まれない場合に、就職する際に必要な普通自動車運転免許取得の費用を補助し、子どもたちの自立のための支援を行いました。

### 2 お問い合わせ先

福島県子ども未来局 児童家庭課（TEL：024-521-8665）

## 子どもを守ろう！見守りサポーター養成事業

### 1 事業概要

児童虐待の防止を目的に、CAP（Child Assault Prevention 子どもへの暴力防止）プログラムを活用して、県民に広く児童虐待防止のための教育や啓発を行いました。



### 2 事業実施回数及び総参加者数

実施回数：計62回（子ども向け12回、  
大人向け50回）

参加者数：1,314名（子ども679名、大人635名）

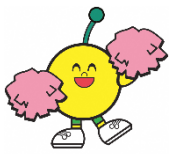
### 3 事業実施による効果

子どもへの効果として、自分の権利について認識し、虐待等の危険な状況を回避するスキルを身につけることができました。また、相談の大切さについて認識し、孤立化を防ぐことにつながりました。

大人への効果としては、子どもの権利や大人の暴力等で傷つく子どもの心の状態を学ぶことで、大人側の言動を振り返り、虐待を防ぐ意識を醸成する機会となりました。

### 4 お問い合わせ先

福島県子ども未来局 児童家庭課（TEL：024-521-8665）



## こどもの将来応援事業

### 1 事業概要

子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることなく、健やかに育成されるために実施されている各種支援について、子どもたちや保護者等が活用するきっかけとするため、ガイドブック及びリーフレットを作成・配布しました。

### 2 お問い合わせ先

福島県子ども未来局 子ども・青少年政策課（TEL：024-521-7187）

## 地域で支える子育て推進事業

### 1 事業概要

地域の特性を活かした自主的な子育て支援や親支援の活動、子ども食堂の開設等を支援し、地域全体で子育てを支援する機運の向上を図るため、市町村や民間団体の取り組みに対して補助を行いました。

### 2 お問い合わせ先

福島県子ども未来局 子ども・青少年政策課（TEL：024-521-7187）

## “医療の魅力”発信事業

### 1 事業概要

県内出身の将来世代の医療人材を安定的かつ着実に増加させるため、小学生から高校生を対象に、実際に医療の現場で働く看護職による授業や、一日看護等体験、オンライン医療教室を開催することで、医療職の魅力伝える機会を創出しました。



### 2 総参加者数

対面授業 1,004名（小学生268名、中学生429名、  
高校生307名）

一日看護等体験 126名（高校生126名）

オンライン教室 88名（小学生53名、中学生35名）

### 3 事業実施による効果

看護職が講師として児童・生徒に授業を行うことで、生命や性に関すること、キャリア形成、看護の仕事等への理解を促すことができました。

また、動画コンテンツ等を活用したeラーニング形式で小・中学生に医療職種の魅力情報を発信し、医療職への興味・関心を高めてもらうことができました。

### 4 お問い合わせ先

福島県保健福祉部 医療人材対策室（TEL：024-521-7222）

## 寄附をくださった皆様へのメッセージ

給付金をお届けしている児童・生徒や保護者の方々から、寄附をくださった方へ寄せられたメッセージをご紹介します。

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

私は無専志望校に合格し、  
4月から高校に通うことができます。  
同じ中学校から今通っている  
高校に入学したのは他のクラスに1人しか  
おらず、クラスでうまくやっているか不安  
な部分もありましたが、今は友達もできて  
楽しい高校生活を送っています。

国公立大学進学を目指して一生懸命  
勉強し、将来は何かの形で皆様への  
恩返しができるかと思っております。

毎日暑すぎますが、体調を崩さぬ  
よう頑張ります。

学校 小学校・中学校・高校・その他( )

学年 1年生 ※お名前を書く必要はありません。

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

いつも寄附をしてくれて、ありが  
たうです。勉強の生活を送っています。  
高校では部活の空手道、新しい  
勉強の道を頑張っています。  
これからは将来の夢に向けて一  
層頑張ります。  
ありがとうございました。

学校 小学校・中学校・高校・その他( )

学年 1年生 ※お名前を書く必要はありません。

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

この度は、私たちのために寄附してくださり、  
ありがとうございます。皆様のおかげで  
楽しい学校生活を送ることができていま  
す。現在、私は短期大学への進学を希望  
しており、これは皆様が寄附してくださ  
りのおかげで、決めることができた進路だと思  
います。皆様への感謝を忘れず、しっかり  
合格して楽しい学校生活を送りたいと  
思います。

学校 小学校・中学校・高校・その他( )

学年 3年生 ※お名前を書く必要はありません。

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

ご支援いただきありがとうございます。  
感謝申し上げます。

皆様のおかげで、子ども  
の学生生活を継続できております。

学校 小学校・中学校・高校・その他( )

学年 1年生 ※お名前を書く必要はありません。



寄附をくださった皆様へのメッセージ

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

現在、息子は、実家を離れ一人暮らしをしています。  
コロナ禍で不便な生活をする時期が長くありましたが、3年生と  
なると今では、対面での授業が増え、少しずつ大学生らしい経験ができています。  
震災から11年、多くの方の温かい心に支えられていることに感謝しています。

学校 小学校・中学校・高校・その他(大学)  
学年 3年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

ご支援してくださるの皆様11年間の  
ご支援に本当にありがとうございます。  
ごさいます。  
皆様のおかげで上の子が大学時代の  
も無事に卒業合格しました。感謝の  
気持ちを一いつでも忘れません。  
いつか私たちは人々を助ける  
番になることを信じています。  
短いご挨拶ですが、最後に  
皆様のいつかのご健康を心  
から祈りにおきます。

学校 小学校・中学校・高校・その他(大学)  
学年 3年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

震災から11年がたち、私も  
中学一年生となり、部活 勉強に  
忙し過ぎています。  
こうして今も皆様からあなたがい  
ご寄附をいただきとても感謝して  
お礼。皆様からのご支援のおかげで  
普通の家庭の子供と同じように、  
文房具や服などを買うことができ  
明るく生活できています。  
皆様からのお気持ちを忘れてはくれな  
いよう頑張っていると思います。  
本当にありがとうございます。

学校 小学校・中学校・高校・その他  
学年 1年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

いつも寄附をしてくださる、という  
こと、ありがとうございます。  
おかげで、好きなこともできて楽し  
い生活をおくれています。  
中学校に上がって、楽しい部活動が  
一層楽しみな、た勉強もがんばりま  
す。お母さんがとても元気でいることも嬉し  
いです。  
こうしたこともできるのも皆様が寄附をして  
くださったおかげです。  
ありがとうございます。

学校 小学校・中学校・高校・その他  
学年 1年生 ※お名前を書く必要はありません。

## 寄附をくださった皆様へのメッセージ

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

いつも支えてくださりありがとうございます。  
ごさいます。  
寄附をくださった方々のおかげで  
良い大学生生活を送ることができています。  
皆様方の温かいご支援にあらためて  
心より厚く御礼申し上げます。

学校 小学校・中学校・高校・その他(大学) )  
学年 1 年生 ※お名前を書く必要はありません。

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

東日本大震災から11年大勢の方に支えられ  
日々変りなく元気に過ごしております。  
当時小さな背中に重そうにランドセルを背負う  
孫は、早いものです。高校3年生、4月から  
国際交流協会に参加しボランティア活動を  
始めました。コロナ禍で活動の自粛もありましたが  
活動を通じて色々な事を学び心身ともに  
成長することを願っています。  
また今年、大学受験に向けての最後の  
高校生活です。皆様からのご支援は、学費  
(学費)に活用させて頂いております。  
ありがとうございます。

学校 小学校・中学校・高校・その他(祖母) )  
学年 1 年生 ※お名前を書く必要はありません。

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

東日本大震災不ふくしまことも寄  
附金、お世話になりました。その日  
から十一年間無事に高校一年生を  
育きました。温かい支援、ありがとうございました。  
おかげさまで充実した十  
一年間家族三人を過ごすことがで  
きました。子供一人はバトミントン部  
一人は吹奏部へ入りました。高校  
生活にも慣れ、家族学習の習慣も  
つちも、充実した生活を送っています。

学校 小学校・中学校・高校・その他( )  
学年 1 年生 ※お名前を書く必要はありません。

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

いつもありがとうございます！  
私は今、高校で陸上競技部に所属  
しています。私は小学校の時から走るこ  
が大好きで、中学校も高校も部活を  
頑張ってきました。毎日の練習はと  
ても大変ですが大きな目標に向か  
てチームメイトと汗水流しながら努力  
しています！今年も全国インターハイに  
出場することが決まったので、去年  
悔しい思いをした分、今年はいかに  
自分の満足できる結果を残します！  
たくさんの方々にサポート頂いた分、  
自分も精一杯頑張るのでこれからも  
よろしくお願ひします。

学校 小学校・中学校・高校・その他( )  
学年 3 年生 ※お名前を書く必要はありません。

## 寄附をくださった皆様へのメッセージ

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

私は、毎日元気に学校に通っています。  
国内外のたここの方々から支援を  
いただき本当にありがとうございます。  
私か、文においたら、困っている人達の  
お世話をほめる手につきたいと思、います。  
感謝の気持ちをおまわりの笑顔でかか、おこ  
い、うと思、います。ありがとう！

👉 😊 感謝

学校 小学校・中学校・高校・その他( )  
学年 2年生 ※お名前を書く必要はありません。

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

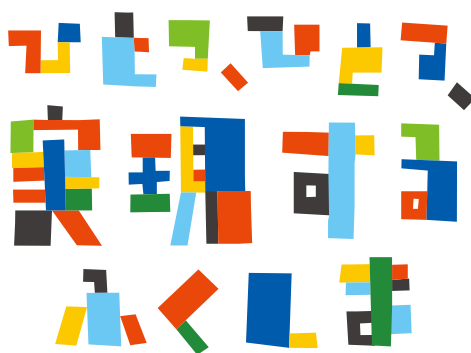
拝啓  
梅雨に入り憂うつな日々が続き、  
の緑が一層色濃く感じています。  
いつも多大なる御支援を賜り、心より感謝  
申し上げます。私達の居住地では昨年今年  
震度6(昨日は石川界で震度6が観測)と  
11年前の東日本震災を思いおこす様な揺れが  
当時小学一年生だった子の大学に進学し、おし  
て社会に貢献できると、勉学に  
励んでいます。

学校 小学校・中学校・高校・その他(大学 )  
学年 / 年生 ※お名前を書く必要はありません。

## 寄附をくださった皆様から福島の子どもたちへのメッセージ

国内外の寄附者の方々から、福島の子どもたちへ、たくさんのメッセージを寄せていただいています。その中から、一部をご紹介します。

- 皆があたたかく見守っているのでたくさんの人達にたよって自分の楽しいと思、う事をしていって下さい。皆、仲間です！！ (埼玉県)
- 震災から10年。これまでのみなさんのがんばりは本当にすごい！すばらしいと思、います。そしてこれからもみなさんにエールを送り続けたいと思、います。 (岡山県)
- 私たちも福島に住んでいます。ぜひ、このお金を使、ってください。いっしょによりよい福島にしてい、きましょう。 (福島県)
- 名古屋市に住んでいる小学3年生です。このお金は、500円玉ちょきんしたものです。食べ物を買うためやべんきょうにつかうえんぴつ、けしゴムを買うためなどにつ、かってください。 (愛知県)
- 寄附のことは気にしないで、自分の好きな仕事・人生を選、び、進んでもらえたら嬉しいです。後悔のない選、択を。 (東京都)
- 東日本大震災で被災された方々のことは、決して忘れません。特に子どもたちが希望をも、ってより良き将来を生きられるよう願、っております。 (佐賀県)
- 夢を持って、歩いてい、ってください。 (沖縄県)
- みなさんが爽り多き人生を送れるよう、お祈りしてあります。 (海外)



令和4年9月発行

**福島県 こども未来局 こども・青少年政策課**

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話：024-521-7198

E-mail:kodomoseisaku@pref.fukushima.lg.jp

福島県庁ホームページ

[ふくしまこども寄附金](#)

[検索](#)